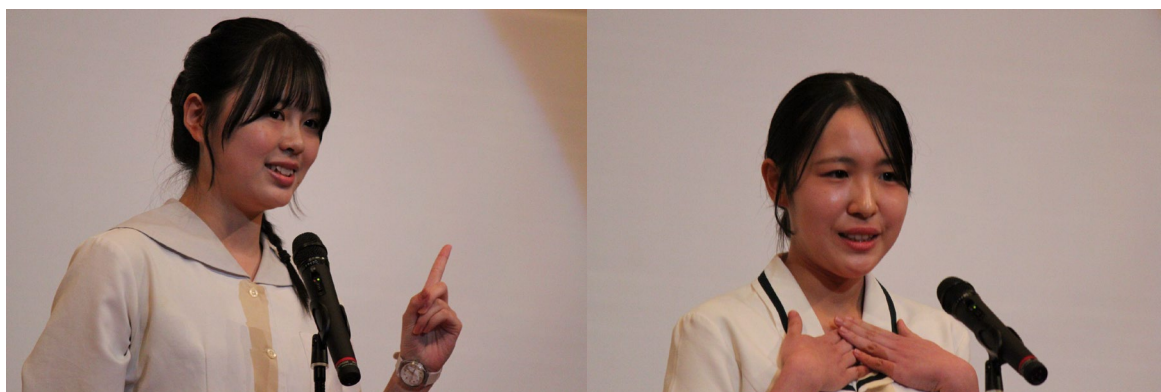


2026年9月8日

目白大学で「第1回 全国日本高校生韓国語スピーチ大会」を開催

2026年8月8日（日）、目白大学新宿キャンパス佐藤重遠記念館講堂にて「韓国語で開く未来」をテーマに「第1回 全国日本高校生韓国語スピーチ大会」が盛大に開催されました。本大会は駐日韓国教育院長協議会が主催し、初の全国大会を実施するにあたり、韓国語教育に実績のある本学が会場に選ばれたものです。



大会には、日本全国15箇所の韓国教育院から選抜された代表生徒15名が参加しました。参加者は日頃の学習成果をいかに発揮し、自身の体験や未来への情熱、両国の架け橋となる抱負について、堂々とした韓国語でスピーチを披露しました。



大賞に輝いた岡山市立岡山後楽館高等学校の菊池春日さんは受賞コメントとして「支えてくださった多くの方に感謝を伝えたい。この喜びをさらにモチベーションとして韓国留学を目指しなお一層頑張りたい」と語ってくれました。実は菊池さん、なぎなたの岡山県代表選手でもあり、表彰式後はインターハイ出場のため、そのまま会場となる奈良県へと向かいました。

スピーチ発表に加え、日韓の高校生による伝統楽器サムルノリの力強い演奏や躍動感あふれるダンス、洗練された合唱パフォーマンスなども披露され、言語の枠を超えた交流が実現しました。

